

川谷潔 （註） 新聞記者、小説家。明治四十四年十月（一九一〇）京都市  
 岡崎町生れ、昭和十八年二月五日歿（一九一四）。筆名川田（一粟、川  
 谷白楊、木暮慎太郎、桃醉等。英文學者厨川白村の三男、父の従弟川  
 谷佐一郎の養嗣子となる。昭和七年早稲田大學文學部國文科入學と、  
 小説家志望のため退学し上智大學佛文科に入る。十年に卒業して都新聞  
 社に入社、翌年朝日新聞社へ轉じ、横濱支店勤務。一方大佛次郎の推  
 奨で、雑誌『オーストリア讀物』、『新青年』、『話』等にも木暮慎太郎の筆  
 名を以て小説を發表。十七年朝日新聞出版局の委嘱により『軍祐加藤  
 少將正傳』を書下し、翌年出版。その後海軍報道班員として南方戦線  
 へ従軍、南太平洋で戦死した。

大佛次郎、門田勳等が編輯委員となり、遺稿と結核『針路、南』（田  
 島洋男編、昭和十九年五月一日印刷代謄寫）が出版せられた。

